



2026 年 7 月 30 日
株式会社イクシス

AI アナログメーター検針システム「GENBA-Meter Read」を提供開始 ～AI による自動検針と一括管理で設備点検業務の DX を推進～

株式会社イクシス（本社：神奈川県川崎市、代表取締役 CEO：狩野 高志）は、このたび、アナログメーターの検針業務を自動化する AI アナログメーター検針システム「GENBA-Meter Read（以下、「本サービス」という）」をリリースしたことをお知らせします。

【GENBA-Meter Read 特設サイト】

<https://www.ixs.co.jp/genba-meter-read>



■ 本サービスの概要

本サービスは、現場に設置したカメラでアナログメーターを定期的に撮影し、取得した画像から AI が指示値を自動で読み取り、数値データとして管理するサービスです。取得画像や検針データは Web アプリ上で一括管理でき、設備の状態把握や異常兆候の早期発見を支援します。圧力計、温度計、濃度計などのアナログメーターへの対応が可能です。





■ 開発背景

近年、工場、プラント、インフラ施設、各種設備の維持管理現場では、設備の老朽化や人手不足への対応が大きな課題となっています。また、アナログメーターの点検は依然として目視による巡回点検が多く、人による読み取りミスや点検漏れ、データ記録作業などが業務負荷となっています。

イクシスは、これらの課題解決に向けて、固定カメラと AI 画像解析技術を活用した自動検針サービス「GENBA-Meter Read」を開発しました。

■ GENBA-Meter Read の特長・導入効果

1. 省人化・省力化を実現

巡回点検や検針結果の記録作業を削減し、点検業務の効率化を実現します。人による読取ミスや点検漏れの防止にも寄与します。

2. Web アプリによる一括管理

取得した画像および検針データを Web アプリ上で管理できます。複数拠点・複数設備の情報を一括で把握できるため、設備管理業務の効率化に貢献します。

3. 異常値の早期発見で生産性向上

設定した基準値を超過した場合にはアラート表示を行い、設備異常やその兆候を迅速に把握することが可能です。設備停止やトラブルの未然防止を支援します。

4. ロボット連携による拡張性

固定カメラによる運用に加え、ロボットによる自動巡回時の画像取得および検査にも対応を進めております。将来的な設備点検 DX の拡張にも柔軟に対応可能です。





<Web アプリによる一括管理イメージ>

■ 想定導入先

- ・ 製造工場
- ・ プラント設備
- ・ 発電施設
- ・ 上下水道施設
- ・ 鉄道・交通インフラ
- ・ ビル・施設管理

■ 導入効果

- ・ 検針作業の自動化による省人化
- ・ 巡回点検工数の削減
- ・ 読取ミス・記録ミスの防止
- ・ 異常検知の迅速化
- ・ 設備停止リスクの低減
- ・ 複数設備の一括管理による運用効率向上



■ 当社の概要

イクシスは「ロボット×テクノロジーで社会を守る」をミッションとし、ロボット、AI・XR、3D データ技術を融合したソリューションの社会実装により、社会・産業インフラ業界の社会課題の解決への貢献を目指しています。

設立	1998 年 6 月
所在地	神奈川県川崎市幸区新川崎 7-7 AIRBIC 内
代表者	代表取締役 CEO 狩野 高志
事業内容	社会・産業インフラ向けロボットソリューション AI・XR・3D データソリューション
HP URL	https://www.ixs.co.jp/

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社イクシス
神奈川県川崎市幸区新川崎 7-7 かわさき新産業創造センター（AIRBIC）内
Business Development Division
電話：044-589-1500 、メールアドレス：press@ixs.co.jp

以上